

別記様式第 1 1

平成 2 2 年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

「ニ地域居住時代に向けた木造住宅普及先導モデル整備事業」

2. 事業実施期間

平成 2 2 年 6 月 1 2 日～平成 2 3 年 2 月 2 8 日

3. 事業主体

清流高津川を育む木の家づくり協議会

4. 事業の成果

(1) 木の家づくり協議会の開催、及び委員会と取り組み 4 部会の設置・開催

取り組みを進めるため全体を総括する協議会と外部委員等から総合的にアドバイスをいただく委員会、具体的な内容を検討する 4 つの部会を濃密に開催した。

- ① 6 月 2 1 日：清流高津川を育む木の家づくり協議会開催
- ② 7 月 3 0 日：清流高津川を育む木の家づくり協議会開催
- ③ 8 月 2 7 日：第 1 回木の家づくりを進めるための社会システム構築を目指す委員会開催
- ④ 9 月 3 0 日：清流高津川を育む木の家づくり協議会開催
- ⑤ 1 0 月 1 7 日：清流高津川を育む木の家づくり協議会開催
- ⑥ 1 1 月 2 9 日：清流高津川を育む木の家づくり協議会開催
- ⑦ 1 月 2 1 日：第 2 回木の家づくりを進めるための社会システム構築を目指す委員会開催
- ⑧ 2 月 1 8 日：清流高津川を育む木の家づくり協議会開催

(2) ニ地域居住型ラインガルテンの整備

都市と農村を結ぶニ地域居住の普及促進のため、有機農業や、高津川流域材を利用した体験宿泊型ラインガルテンを整備し、簡易な宿泊体験施設等の普及を図りながら、木材生産現場も併せた見学ツアー等を開催した。

(主な取り組み経過と概要)

- ① 7 月 7 日：部会開催 (取り組み協議)
 - ② 7 月 2 0 日：部会開催 (取り組み協議)
 - ③ 8 月 2 7 日：部会開催 (取り組み協議)
 - ④ 9 月 1 4 日：部会開催 (取り組み協議)
 - ⑤ 9 月 1 5 日：ニ地域居住対応型木造モデルハウス建設着手
 - ⑥ 1 0 月 1 6 日：ニ地域居住対応型木造モデルハウス完成
・ 1 階 36 m²、ロフト 8 m²、延床面積 44 m² (13 坪)。高津川流域の乾燥木材、石州瓦利用。薪ストーブ、有機農業用畑付き。
 - ⑦ 1 0 月 1 7 日：ニ地域居住対応型木造モデルハウス関係者見学会開催
・ 木の家づくりから林業再生を考える委員会、国交省、町の工務店ネット、地元関係者等約 5 0 名の見学。
 - ⑧ 1 1 月 2 1 日：ニ地域居住対応型木造モデルハウス一般開放見学会開催
・ 吉賀町柿木村道の駅の祭りに併せた開放見学会で 6 2 組の見学。
 - ⑨ 1 2 月 4 日：ニ地域居住対応型木造モデルハウス及び林業現場見学会開催
・ 流域材を専用に挽く高津川森林組合製材所や木材生産 (間伐) 予定現場等の見学を併せたツアーを企画し、関西圏 (高槻市)、関東圏 (川崎市)、広島市から 2 3 名の見学。
 - ⑩ 2 月 1 8 日：地元高津川流域の一般市民を対象とした見学会開催
・ 高津川木の家コンテスト受賞邸の見学と併せて実施。一般市民等 2 6 名の見学。
- (その他)

- ・ニ地域居住対応型木造モデルハウスは新聞でも取り上げられ問い合わせも多数あった。
- ・常時一般市民等の見学希望に対応した。
- ・独自のPR冊子も作成した。
- ・ニ地域居住や小型ハウスへの関心が非常に高まった。

(3) 流域の古民家再生モデル整備

築80年を超える当地方を代表する古民家等を次世代に残していくため、モデル的な再生に向けた調査研究や研修、講演等を行った。

- ① 7月8日：部会開催（取り組み協議）
 - ② 8月9日：部会開催（取り組み協議）
 - ③ 8月28日：木の家シンポジウム開催
 - ・東京芸大 山名名誉教授、古民家再生の建築家降幡氏等を講師に古民家再生等のシンポジウムを開催。85名の参加。古民家再生調査のPRを併せて行った。
 - ④ 9月8日：部会開催（取り組み協議）
 - ⑤ 9月21日：一般公募開始
 - ・築80年以上の民家（空き屋含む）について、流域市町全戸（約28,000戸）にチラシを配布し、調査への協力を求めた。
 - ⑥ 10月22日：部会開催（取り組み協議）
 - ⑦ 10月30日：応募締め切り
 - ・公募により約40件の調査協力が得られた
 - ⑧ 11月19日：部会開催（取り組み協議）
 - ⑨ 12月22日：部会開催（取り組み協議）
 - ⑩ 1月17日：木の家耐震改修勉強会（神戸）に参画
 - ⑪ 1月18日～1月28日：公募以外の古民家（空き屋含む）についての事前調査
 - ⑫ 2月1日～2月28日：古民家（空き屋含む）の賦存状況の現地調査。
- （その他）
- ・現地調査結果を地図（ゼンリン）と写真で整理とりまとめを行った。
 - ・次年度以降も引き続き補填しながら、測量や再生モデルの検討を行う。

(4) 清流高津川を育む木の家コンクールの実施

高津川流域の気候風土、伝統文化に基づく木造住宅や、新旧入り混じったモダン住宅、新たなコンセプトによる木造住宅などをコンテスト方式で流域の関係者や住民から広く募集し、表彰や講演等を行った。

- ① 7月8日：部会開催（取り組み協議）
- ② 8月28日：木の家シンポジウムで「高津川流域木の家コンテスト」募集のPR
- ③ 8月29日～11月15日：募集活動
 - ・チラシ配布、新聞広報、関係者案内等により募集し、29点の応募となる。
- ④ 11月19日：部会開催（取り組み協議）
- ⑤ 11月29日：一次審査により19点に絞込み
- ⑥ 12月12日：高津川流域木の家コンテストの開催
 - ・応募した施主等による公開プレゼンテーションを踏まえ、専門審査員2名、一般審査員30名による投票による最終審査を実施し表彰。併せて講評をいただく。コンテスト会場来場者約100名。
- ⑦ 1月10日～2月28日：コンテスト応募パネルの巡回展示
 - ・流域3市町の庁舎ロビー等で巡回展示を行いコンテストや木の家づくりを一般市民に広くPRした。

- ⑧ 2月18日：木の家コンテスト受賞邸見学会の開催
- ・木の家コンテストの3部門で最優秀賞に選ばれた木の家の見学会を開催。一般市民等26名の見学。
- (その他)
- ・コンテストは今後も毎年継続して実施予定
 - ・木の家づくりに対する一般ユーザーや工務店等の関心や気運が非常に高まった。

(5) 優良木材生産森林の設定と木材生産の検証

木造住宅に供給する優良木材を確保するため、協議会等の関係者の話し合いにより「優良木材生産森林を流域内に3箇所程度設定し、独自の森林管理計画を策定したり、生産コスト分析、作業路開設検証等を実施した。

- ① 7月1日：部会開催（取り組み協議）
- ② 7月20日：部会開催（取り組み協議）
- ③ 7月28日～30日：森林選定調査
 - ・流域内の木材生産森林を調査し、森林計画策定団地、木材生産コスト検証団地、路網開設研修団地の3団地を選定した。
- ④ 8月12日～13日：路網開設研修
 - ・岡橋、竹内講師による路網開設事前研修（吉賀町）
- ⑤ 8月25日～27日：森林組合経営等指導
 - ・坪野講師による間伐材生産等における森林組合指導（益田市）
- ⑥ 8月25日～26日：部会開催（取り組み協議）
- ⑦ 8月26日～27日：木材生産コスト検証
 - ・長谷川、竹内講師による木材生産現場での生産コストの検証研修（吉賀町）
- ⑧ 9月14日：森林管理計画策定地元説明会
 - ・森林管理計画を策定するにあたって森林所有者等への説明会の開催（津和野町）
- ⑨ 10月5日～7日：路網開設研修
 - ・岡橋、山田、竹内講師による路網開設事前現地踏査及び開設研修（吉賀町）
- ⑩ 11月8日～17日：路網開設研修
 - ・山田、岡橋、竹内講師による路網開設実地研修（吉賀町）
- ⑪ 11月14日：森林管理計画策定研修
 - ・竹内講師による森林調査等研修（津和野町）
- ⑫ 12月17日～18日：森林管理計画策定研修
 - ・竹内、高橋講師による森林管理計画策定研修（津和野町）
- ⑬ 12月21日：木材生産コスト研修
 - ・長谷川講師による間伐材の搬出コスト分析及び最適な作業システムの研修（吉賀町）
- ⑭ 1月18日：作業路開設視察研修
 - ・姫路市市有林における大橋式作業路開設（壊れにくい作業路）についての研修

(その他)
- ⑮ 2月23日：木材生産コスト研修
 - ・長谷川講師により間伐材の搬出コスト分析及び最適な作業システム選定研修
 - ・3団地で実施したそれぞれの成果を、講師指導のもと報告書としてとりまとめた。
 - ・報告書を踏まえながら、木の家づくりにおける優良材生産の基礎資料として活用しながら、他地域へも普及していく。

(別添関係資料及び成果品参照)